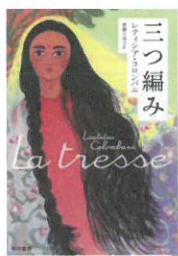


中学生におすすめする司書のイチオシ本 **第2位**

三つ編み レティシア・コロンバニ 著

齋藤 可津子 訳 (早川書房)
国や社会階層が違ってもしっかりと生きていこうとする女性の姿に心打たれる。(京都女子・図書館職員)
「今までずっとそうだったから」という壁を彼女らが壊そうとした時、別々の3人の人生が見事につながる。

(同志社・司書)



中学生におすすめする司書のイチオシ本 **第3位**

しろがね おか くら **白銀の墟 玄の月** 小野 不由美 著 (新潮文庫)



長い間待ち望んだ泰国の話。
暁宗は生きているのか、どこにいるのか。
そして、これから泰国はどうなるのか、最後まで油断できません。
(京都翔英・司書教諭)

中学生におすすめする司書のイチオシ本 **第4位**

読書する人だけがたどり着ける場所

齋藤 孝著 (SB新書)

とにかく、齋藤先生の本、日本語がわかりやすい！中学生がこの本に触発されて読書をして、深い知識と教養をもった人に成長してほしい。

(花園・司書)



We love books
中学生におすすめする司書のイチオシ本

2019年版

京都府私立学校図書館協議会・司書部会

中学生におすすめする司書イチオシ本 **第1位!**

ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー

プレイティみかこ 著 (新潮社)

この中学生はしっかりしててかっこいい！
(洛星・司書)

ひとりの中学生とその周囲の人たちの行動が、立ち止まって考えて想像し、自分のやり方を見つけていくことの希望を見せてくれる本。(京都精華学園・司書)

いろいろな視点で多様性を考えるきっかけになった。主人公の少年が語る「誰かの靴を履いてみる」という英国の諺は、まさに「多様性」を考える原点だ。

(平安女学院・司書)

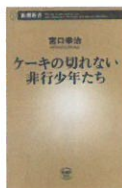


司書のイチオシ本 **第8位**

ケーキの切れない非行少年たち

宮口 幸治 著 (新潮新書)

今まで知らなかった様々な問題、犯罪を繰り返す原因が見えた気がする。
(同志社国際・教員)



司書のイチオシ本 **第9位**

僕らはそれに抵抗できない「依存症ビジネス」のつくられかた

アダム・オルター 著 上原 裕美子 訳 (ダイヤモンド社)

「依存は学習によって生じる」は、目からウロコでした。なにごとも「良い加減」に楽しみましょう！
(洛星・司書)



中学生におすすめする司書のイチオシ本 **第5位**

ノーサイド・ゲーム 池井戸 潤 著 (ダイヤモンド社)

池井戸さんの方程式が更にパワーアップした作品。泥臭いって敬遠されるかもしれないけれどこれを読んで熱くなってください。

(花園・司書)



中学生におすすめする司書のイチオシ本 **第6位**

熱帯 森見 登美彦 著 (文藝春秋)



どこまでが事実でどこからがフィクションなのか。とてもあやふやで堅実な世界は、森見ワールドの神髄である。『熱帯』も、ひょっとするとどこかにあるのかもしれない。
(京都聖母学院・教員)

中学生におすすめする司書のイチオシ本 **第7位**

希望の糸 東野 圭吾 著 (講談社)

いろいろな形の親子のつながりの強さを描いた作品。期待を裏切らない展開で、読み応えがあり！！
(京都精華学園・司書)

